

安心して子育てができるまち つるが

夢中になって遊ぶ ～豊かに育つ心と体～

令和5年9月策定

保育園に求められている二つの役割として、「子どもを健やかに育てること」「子育てをしている保護者を支援(援助)すること」があります。それを実現していくためには、保育者の高い専門性と豊かな人間性が必要です。子どもの最善の利益を考慮し、0歳児からの保育と育ちが一生にわたる豊かな成長の出発点であることを心に留め、日々の保育実践の中で子ども達にどのような力を育てていきたいのか、また、子ども達の姿から保育を振り返りどう次に繋げていくのかを考えることで、子ども達の豊かな毎日を保障していきます。

☆ 保育の基本方針

- ・子どもが健康、安全で情緒の安定した生活ができる環境を用意し、自己を十分に発揮しながら活動できるように支援することにより、健全な心身の発達を図ります。
- ・養護と教育が一体となって、豊かな人間性をもった子どもを育成します。
- ・家庭や地域社会との連携を図り、保護者と共に子どもの育ちを支えます。
- ・地域に開かれた保育園として乳幼児などの保育に関する相談に応じる等、子育て力の向上に貢献します。

☆ 保育目標

- 1 心も体も健康な子ども
- 2 みんなと遊ぶ子ども
- 3 心の明るい豊かな子ども
- 4 創造し表現できる子ども

～笑顔あふれるインクルーシブ保育の実現に向けて～
 集団生活が可能な障がい児や医療的ケア児と周りの子ども達が共に育ち合う環境作りに努めます。
【敦賀市立保育園における医療的ケア児受け入れに関するガイドライン・令和4年4月策定】

公立保育園の担う役割・機能

カテゴリーⅠ 子どもの育ちを保障します

- ・敦賀の豊かな環境を活かした、質の高い乳幼児の保育を提供します
- ・保育者等が資質向上を図り、保育現場の魅力を発信します

カテゴリーⅡ 子育て家庭を支えます

- ・公立保育園を利用する保護者への支援を充実します
- ・地域のすべての子育て家庭への支援を充実します

カテゴリーⅢ 多様な連携と協働をつくります

- ・子育て・子育て支援のネットワークの中で公立保育園として情報の発信及び共有を図ります
- ・地域と連携して保育機能を強化します

カテゴリーⅣ 子育て文化を育みます

- ・子育てへの関心を高めます
- ・子育て文化を醸成する活動を広げます

カテゴリーⅤ 安心して子どもを産み育てる支援の仕組みをつくります

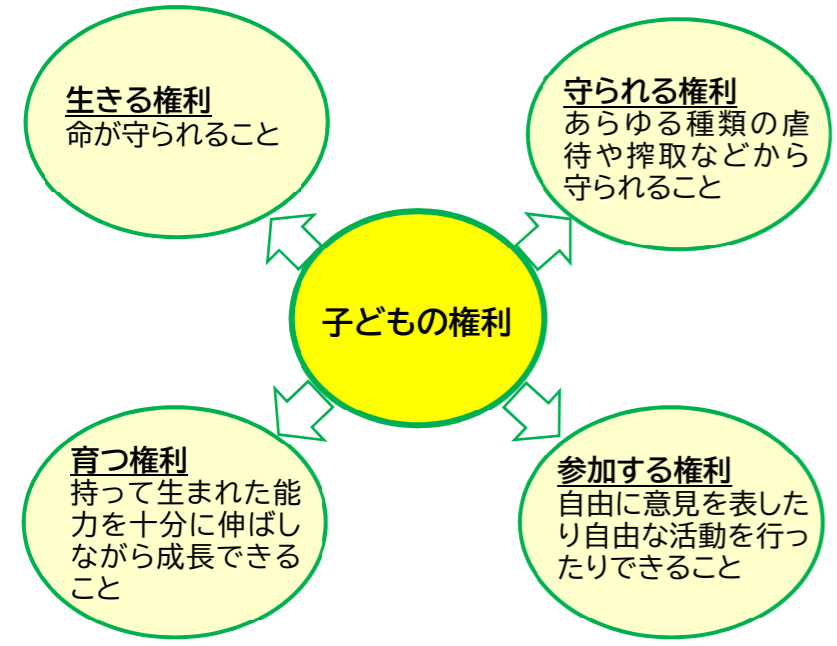
- ・保育園の役割・機能について研究をすすめます
- ・社会連帯による子育て支援の仕組みづくりをすすめます



保育の重点事項

子どもの権利 【子どもの権利条約より】

すべての子どもが気持ちを受け止めてもらい安心して心身共に伸び伸びと生活できる保育を行います。



養護の保障 【厚生労働省「保育所保育指針」参照】

一人一人の子どもの生命の保持と情緒の安定を図ることは、子ども達が生活していく上で欠かせない基本的な要素です。養護の行き届いた環境を整え、子どもが安心・安定感をもって過ごせるようにします。

環境を通して行う保育 【「環境の構成を工夫しよう」(福井県幼児教育センター)より】

子どもが出会うあらゆる「人・もの・こと」が「環境」です。環境となる人や自然、もの、生き物などに自ら関わり、環境と対話する中で生まれる興味・関心を起点として子ども達の遊びは始まります。

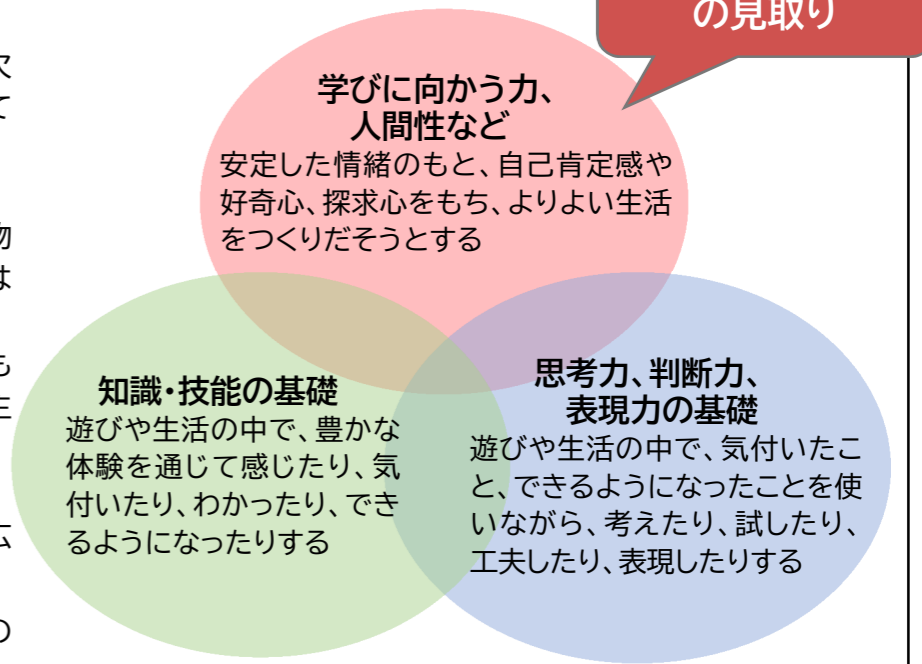
保育者自らが重要な「環境」として、子ども一人一人の特性をつかみ、活かしながら、“子どもが思わず触りたくなるような”“関わりたくなるような”魅力ある環境を構成し、子ども自ら主体的に関わって遊ぶことを大切にします。

幼児教育・保育自然体験等支援事業

幼児期は生涯にわたる人間形成の基礎が培われる極めて重要な時期です。この時期に、幅広い生活体験や自然体験を十分に積み重ねることが重要です。

恵まれた地域の特色を活かした自然体験などの体験活動を十分に保障することで「自然への愛情」や「命の大切さ」、生きる力の基礎となる「非認知能力」等を豊かに育てていきます。

3つの資質・能力の見取り



【「つながる ひろがる 子どもの学び」(福井県幼児教育センター)より】

≪幼児教育から小学校教育への接続事業≫ 敦賀市「知・徳・体」令和プランをもとに、子どもが自己発揮する幼保小接続を目指して、保育園と学校が連携した教育を推進します。

幼児期は学びの芽を育み、学びに向かう力が育つ大切な時期です。そこで培った力をもとに学校生活で自己を発揮します。

- (1)子どもの育ちや学びをつなげるための接続カリキュラムを編成し、園児と1年生との親しみのある交流をすすめています。
- (2)授業参観・保育参観・保育参加など小学校教諭との交流を通して、子どもの学びの姿を見取り、保育・教育について、自分達の考えや思いを語り合うことを大切にしています。